



サイエンスカフェ

cience Café

九州工業大学情報工学部では、
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として
『サイエンスカフェ』を開催しています。

サイエンスカフェ @九工大情報工学部

●日時：2014年 **12月5日(金)**
18:00~18:45

●場 所：九州工業大学・飯塚キャンパス
ラーニングアゴラ棟 飯塚市川津 680-4

●テーマ：『3D 動画を作ってみた
- キャンパス, 分子世界 -』

●ゲスト：いり さ まさ ゆき
入佐 正幸 氏

(情報工学研究院
生命情報工学研究系
准教授)

参加費用 **無料** コーヒー・お菓子つき

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

●申込み 最大80名(先着順)、予約可

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電 話：0948-29-7509 (平日10:00~17:00)

メー ル：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp

サイエンスカフェとは ?
(Science Cafe, Café Scientifique)

一般の方々が、科学者と、お茶やコーヒーを飲みながら、気軽に科学について語り合うことで、コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、インド、オーストラリアなど世界各地に拡がり、日本では2004年に京都で始められたのが最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を提供しながら、参加者みんなで考えることをとおして、科学への関心と理解を深めようというものです。科学を身近に楽しめるイベントとして注目されています。



ゲスト紹介

いり さ まさ ゆき
入佐 正幸 氏
情報工学研究院
生命情報工学研究系
准教授

3D 動画、実際には立体動画(左右画像を持つもの stereoscopic 3D movie)を作ってみました。英語の stereo はギリシャ語の stereos に語源を持ち、物理学者 Wheatstone が考案した立体鏡(stereoscope)から使われ始めたそうです。音楽でよく使われるステレオ(stereophonic sound)は、立体鏡にならって命名された言葉です。今回はキャンパスの様子を学生が撮影した映像と京コンピュータでの分子動力学計算結果の映像を含む複数の3D 動画をお見せし、学生と知的に楽しみながら作成している様子を御紹介します。

